



西合志第一小学校 学校だより 第25号 令和8年2月13日

くすのき



約25年前、田中先生って「宇宙人はい」と、当時担任していた子どもが描いてくれた似顔絵です。

かしこく やさしく たくましく

そしてふるさとを愛する子どもに 文責 校長 田中 知博



前号で紹介しましたが、画像が小さく見えにくかったので、改めて紹介します。本校のキャラクター「さきどりだい」「しーぞう」「いちりゅう」をモチーフにICT支援員の遠藤さんが作成してくださいました！いろいろ活用したいと思っています。

かわいすぎます♡

絵を見て何を感じとったか？～菊池恵楓園絵画クラブ「金陽会」作品展～



2／5（木）合志楓の森小の子どもたちと交流した5・6年生は、併せて現在合志楓の森小で開催されている菊池恵楓園絵画クラブ「金陽会」の作品展の鑑賞もしました。子どもたちは、日頃見ることのできない油絵の作品や、大きな作品などキュレーターの蔵座さんから説明を聞きながら見入っていました。何を感じるか？正解はありません。正解のないものを見て、自分なりに心で感じる。そのことがとても大切だと考えさせられる貴重な機会となりました。一般公開（ヴィーブル）もあっています。

この機会に是非ご家族でもいかがでしょうか。

「言葉ってなんだろう？」ことのは（言葉）について改めて考える ～第14回「合志市ことのは作品コンクール」入賞作品紹介～

★一行詩の部★ 受賞おめでとうございます!!

- 【入選】（1年 げんきさん）「だいすきを ぼくがいうと にこにこえがお」
（3年 きほさん）「『だいじょうぶ』その一言で 心がかわる」
（4年 ゆいらさん）「おはようございます」毎朝近所の人との合い言葉。」
（5年 せなさん）「しあわせだね 今、生きていることが一番のしあわせ」

【↓講評↓】（審査委員長）元熊本放送アナウンサー 岩元 克雄さん

「ことのは作品コンクール」の「ことのは」とは、「ことば・言葉」のことです。このコンクールの目的は、私たちがいつも使っている「言葉」について「言葉とは何だろう」と深く考えると同時に、「言葉」による「いじめ」をなくすことにあります。（中略）ちょっとした心ない一言が、「いじめ」となります。もっともっと「言葉」について考えなければならないのではないのでしょうか。（中略）日本語で一番初めにできた言葉は、ひょっとしたら自分以外の相手とコミュニケーションをとるための「おはよう」などの「あいさつ言葉」だったかも知れません。人間は、一人では生きられません。自分以外の相手と、いかに上手にコミュニケーションを取れるか、それは「ことのは・言葉」の使い方次第ではないのでしょうか。